

ABC再算定の魚種別の実施方法

魚種名（系群）：まさば及びごまさば（対馬暖流系群及び東シナ海系群）

1 ABC算定とTAC設定

まさば対馬暖流系群及びごまさば東シナ海系群の資源評価については、卓越年級群の発生等により加入量推定における不確実性が高いことから、新たに入手されたデータを用いて不確実性を低下させた資源評価に基づき TAC の設定・改定を行うことができるよう、次の方法で当初 TAC 設定及び期中改定のための ABC を算定する。

(1) 当初 TAC 設定（5月頃）

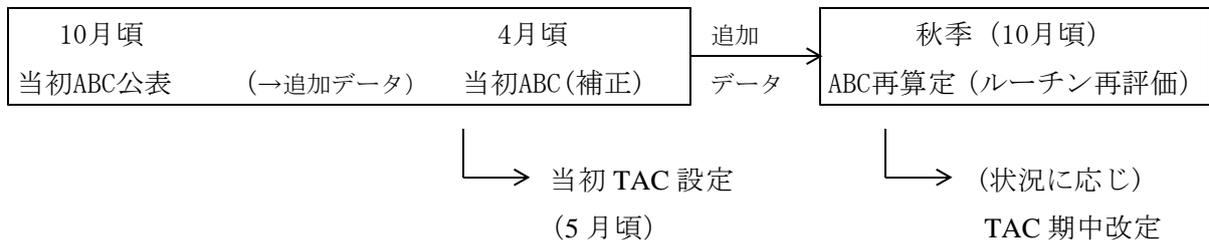
前年秋季に公表された ABC を、以後得られたデータにより 4 月頃に補正する（「当初 ABC（補正）」という）。

(2) TAC 期中改定（必要に応じて実施）

当初 TAC 設定に用いた当初 ABC（補正）に、その後得られたデータを追加して ABC の再算定を行う。

これは、秋季ルーチン評価作業の一貫として行う。

(ABC 算定と TAC 設定との関係)



2 ABC算定の方法及び実施体制

(1) 当初ABC

① 秋季公表値（補正前）

ルーチン作業による毎年度の資源評価の一環として、従来の計算手法・検討体制を基本に直近までのデータを活用して算定する。

○データの種類・期間：

漁獲量：前年の農林統計値（県別大海区漁業種類別魚種別漁獲量）、韓国の前年の漁獲量、各県水産試験研究機関が集計する直近までの主要港月別水揚量

努力量：九州漁業調整事務所が整備する前年の大中型まき漁獲成績報告書、各県水産試験研究機関が集計する直近までのデータ

漁場：遠洋旋網漁業組合などから聞き取った情報

漁獲物のサイズ：九州主要港における大中型まき網による魚種別入り数別水揚量

の直近までのデータ、各県水産試験研究機関が集計する直近までのデータ

体長年齢関係：体長組成分析等により得られるデータ（毎年見直すわけではない）

漁況見通し：遠洋旋網漁業組合などから聞き取った情報

○算定手法

前年度までのルーチン作業による資源評価手法を踏襲しつつ、直近までのデータを入れて、外部委員や関係機関との協議により確定させる。

② 4月補正

秋季算定の方法を基本に、それ以降追加されたデータを活用し、ABC値を補正する。具体的には、秋季算定に用いたデータが更新されたものを利用して算定する。

○秋季算定以降追加されるデータの種類・期間：

漁獲量：前年の暫定値（TAC集計システムなどから集計）、韓国の前年の漁獲量（あるいは推定値）、各県水産試験研究機関が集計する直近までの主要港月別水揚量

努力量：九州漁業調整事務所が整備する前年の大中型まき漁獲成績報告書、各県水産試験研究機関が集計する直近までのデータ

漁獲物のサイズ：九州主要港における大中型まき網による魚種別入り数別水揚量の直近までのデータ、各県水産試験研究機関が集計する直近までのデータ

体長年齢関係：体長組成分析等により得られるデータ（毎年見直すわけではない）

漁況見通し：3月の漁海況予報会議で関係機関等により合意される漁況見通し

○算定手法

コホート計算による過去年の資源量推定方法は、秋季算定方法を基本とする。

(2) ABC再算定

ルーチン作業による毎年度の資源評価（次漁期のABC算定）の一環として、当漁期のABCについて再算定（ルーチン再評価）を実施する。当漁期の当初ABCの算定方法を基本に、それ以降直近までに得られたデータを用い、ABCを再算定する。

○データの種類・期間：

ルーチン作業の一環なので、データの種類・期間は、当初ABCの秋季公表値算定のために用いるものと同じ。

3 作業の流れ

【7～8月】 内部検討会（水研センター主催）及び西海区ブロック資源評価会議
（西海区水研主催）

・直近までの漁況も考慮して、当初ABC及びABC再算定を実施。

【10月】 全国資源評価会議

- ・当初 ABC について、次年度 TAC が設定される直前の 4 月に新たなデータを追加して補正することを報告。また、その際に全国資源評価会議や個別の魚種に対するパブコメは行わないが、外部委員、関係水産試験場、業界との意見交換を行う旨を確認。

(11月 状況に応じ、ABC 再算定値を基に、水産政策審議会に TAC 期中改定を諮問)

【10月】 対馬暖流系群アジ・サバ・イワシ長期漁況海況予報（第1回）

（西海区水研主催）

- ・直近までの漁場形成等を踏まえ、当初資源評価における年級群別資源量等と実際の資源状況とを関係機関と比較・検討する。

【3月】 対馬暖流系群アジ・サバ・イワシ長期漁況海況予報（第2回）

（西海区水研主催）

- ・各県水産試験研究機関が集計する当年1月までのデータを収集する。
- ・西海区水研は、約2週間～1ヶ月程度の期間（3月の漁況予報作成のスケジュールの中）で資源評価の補正を行う。
- ・当初 ABC（補正）の算定結果について外部委員や関係機関と意見交換（水研センター主催）

（以後、関係漁業者に資源状況・資源評価結果を説明・意見交換、サバ類 TAC 設定に関する公開意見交換会、資源評価に対するパブコメを経て、水産政策審議会に当初 TAC 案を諮問）